

- 南海トラフ地震に対する地域の防災力の向上をめざして、平成26年4月から5つのブロックに「南海トラフ地震対策推進地域本部」を設置。危機管理部所属の職員を配置（合計17名）。
- 設置場所は、安芸市、南国市、いの町、須崎市、四万十市。
- 日頃は**地域本部**として活動し、地震発生時には災害対策本部体制での「**災害対策支部**」となる。

◇ 役割

【地域本部として】
 県の出先機関や防災関係機関を含め地域での応急活動体制を確立する（総合防災拠点の整備、市町村の防災対策の支援など）

【災害対策支部として】
 災害情報の収集と総合防災拠点の運営、市町村支援の調整を行う

◇ 平成26年度当初予算の概要

- 地域本部体制に必要な機材の整備や運営費用
 新 44,988千円
- 総合防災拠点としての機能を確保するために必要となる非常用電源設備や通信機器、備蓄倉庫等の配備
 新 336,083千円
- 室戸広域公園での屋内運動施設の整備
 新 483,000千円
 [債務負担790,000千円]

◇ 地域本部と総合防災拠点の配置

- **広域拠点（4箇所）**
 室戸広域公園（室戸市）
 青少年センター（香南市）
 春野総合運動公園（高知市）
 宿毛市総合運動公園（宿毛市）
- **地域拠点（4箇所）**
 安芸市総合運動場（安芸市）
 高知大学医学部（南国市）
 四万十緑林公園（四万十町）
 土佐清水総合公園（土佐清水市）

◇ 地域本部の連携イメージ

